

デッサン『箇条書きの力！』（第1回）

1 「美しいビジネス文」を書く

1.1 理想のビジネス文とは

ビジネス文の理想は「美しいビジネス文」である。「ビジネス」と「美しさ」とは相反する気がするが、美しい文章は読み手の感性に触れ、説得力が増す。

美しいビジネス文章のポイントが箇条書きである。箇条書きにすると一つ一つの項目が短文なので見やすい。分かり易い。そして訴求力がある。

1.2 「伝国^{でんこく}の辞^じ」に見る「美しいビジネス文」

①上杉鷹山(1751-1822)は、江戸中期の(山形県)米沢藩主。殖産興業政策を行い、藩政改革に努めた。米沢藩中興の祖として、今でも米沢市民に愛されている。

彼は若いころから利己心が薄く、利他心が強かったようである。

質素を友とし、粗衣粗食だった。着るものは全て木綿、酒は飲まず、食事はお粥やうどんに、漬物や干魚だったという。

②伝国^{でんこく}の辞^じは、上杉鷹山が次の藩主に家督を譲る際に書き残した、藩主としての心得である。彼は治世の秘訣を、三つの原則にまとめた。後の藩主たちが、日ごろから座右において、治世の自戒とするためである。なお、以下は原文の簡訳である

1 藩は、先祖から子孫へ伝えられるもので、藩主の私物ではない。

1 領民は、藩に属するのであり、藩主の私物ではない。

1 藩主は、領民のために存在するのであり、領民が藩主のために存在するのではない。

③見事に考え抜かれた名文である。シンプル、直截、そして分かり易い。一つ一つの教えは短く圧縮され、わずか三か条。箇条書きである。しかもその内容は、封建時代とは思えないほど革新的である。「よい考えはよい形」をとる好例である。

「伝国^{でんこく}の辞^じ」は、上杉家の家訓として、明治時代に至るまで伝承された。

1.3 残念な記念植樹の紹介文

①ある観光地の駅前広場に植えられた「オリーブの木」の紹介文である。最初の一行で、わたしは読む気を失った。句点はわずかに一か所。読み続けるのにもストレスがかかる。

このオリーブの木は、○○株式会社および△△株式会社が伊豆地域の活性化を目指し栽

培を開始したオリーブの植樹事業に対しその趣旨にご賛同くださいましたローマ教皇庁より贈呈いただいたことを記念し来日中でありましたローマ教皇庁枢機卿 フランシスコ・モンテリージ猊下を伊豆ご滞在中にお招きして関係者の皆さまと植樹を行ったものです。

②なぜ読みにくいのか？ それは、下記の4つの内容を、1文につなぎ合わせているからである。

- (1) ○○社と△△社がオリーブの植栽事業を始めたこと。
- (2) ローマ教皇庁からオリーブの木の贈呈があったこと。
- (3) 枢機卿が来日したこと。
- (4) 関係者一同で記念植樹を行ったこと。

それぞれの内容は主語も述語も違うから、まとめるのは無理がある。残念だが、このような「ごった煮文」は、ビジネスの現場でも日常茶飯事的にみられる。読み手の混乱を防ぐには、予め伝えたい内容を箇条書きにしてから、書き始めるのが有効である（この点は、後に項を改めて述べる）。

1.4 ベタ書き文の総会通知

①「ごった煮文」と同様に、ベタ書き文も避けたほうがよい。

下記はある親睦会の総会通知である。ハガキ全面に文字がぎっしり広がる開催通知は、一瞥しただけで、読みにくい。

会員各位

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、〇月〇日、新型コロナウイルス感染防止のための国の緊急事態宣言が5月末まで延長されました。当市の対策も5月末まで延長されることとなり、総会会場として予定していた△△コミュニティセンターが利用できなくなりました。

当親和会総会は、規約に開催期日を定めておりませんが、予算運用のこともあり、新年度に入って速やかに開催することとしております。近年は5月中には開催することにしており、今年度は5月〇日（日）に開催するとのご案内を先月差し上げておりました。今般、当局の指導により5月開催ができなくなりましたが、新年度のなるべく早い時期に開催するとの総会の趣旨を踏まえ、◎月〇日（日）午後1時半よりコミュニティセン

ターにて開催いたしますことをご連絡申し上げます。

2020 年×月×日

②短文だと何かそっけない気がして、いろいろ埋め草的なことを書く書き手は多い。しかし、美しい文の秘訣は削ぎ落すことである。伝えたいエッセンスだけを述べ、埋め草は思い切って削除する。名宰相チャーチル式に余分を削除すれば、10 行だった文面は 5 行で済む。こうして格段に読みやすくなった。

会員各位

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言が、5 月末まで延長されました。そのため、従来 5 月○日（日）に予定していた総会の開催は不可能となりました。

これに代わる総会は、◎月○日（日）午後 1 時半より、△△コミュニティセンターにて開催いたします。奮ってご参加ください。

2020 年×月×日

2 チャーチル首相の愛した「箇条書き」

2.1 チャーチルは悪文を嫌った

第二次世界大戦当時、イギリスを率いて勝利に導いた名宰相ウインストン・チャーチルは、直截な、シンプルな、考え抜かれた思考を好んだ。彼はもってまわった悪文が我慢ならなかつた。特に戦時下においては、明晰な思考、迅速な決定が必要だったろう。悪文は書き手の考えがあいまいであり、深く物事を考えていない明らかな徵である。

2.2 部下へのメモ「簡潔さについて」

①チャーチルは「よいメモはその形にも表れる」と考えた。名文家の彼が箇条書きを好んだのは、もっともであった。彼にとって、箇条書きは単なる文書の作成技術ではなく、思考そのものだった。

②彼は部下に「簡潔さについて (BREVITY) 」と題するメモを送って、レポートは箇条書きにするよう部下に求めた。彼のメモは 4 点の箇条書きからなっている。メモを以下に要約する。

- (1) レポートは要点を短く、明確にまとめること。
- (2) 詳細な分析や統計は、別紙にすること。
- (3) 詳細なレポートが必要な場合は、見出しだけのメモを出し、必要なら口頭で補足

すること。

- (4) もって回ったいい方をやめること。例えば、「さらに次のような考慮も重要である…」とか「…を実行する可能性を考えるべきである…」など。こういう埋め草的な文はただ余計なだけである。

2.3 「箇条書き」は思考そのものである

チャーチルの面白いところは、外交文書にまで箇条書きを用いたことである。1941年4月、彼は松岡外相宛に八箇条の箇条書きからなる書簡を送り、ドイツではなく英國との関係を強化するよう求めた。結局この試みは失敗し、この年の12月、日本は英米に宣戦布告をした。

3 レーガン大統領が嫌った長いメモ

3.1 チャンスは一度限り

チャーチルとは異なり、ロナルド・レーガン（アメリカの第40代大統領）は、自分で考えるのは苦手だった。「部下にアイディアを出させて、その中から良さそうな案を選ぶ」。これが彼のスタイルだった。高齢だったし、もともと彼は「長いメモは読むのも面倒」だった。

レーガンに出すメモは、結論を先に述べ、その理由を箇条書きにまとめなければならなかつた。メモは1ページ厳守だった。

いくら内容が良くても、このスタイルを守らないメモは読んでもらえなかつた。部下にとつて、チャンスは一度切りだった。失敗すれば、長い間温めてきた企画さえお蔵入りだった。チャンスは二度となかつた。

3.2 二人とも削ぎ落されたメモを好んだ

チャーチルは読むのも書くのも得意だったが、レーガンはどちらも苦手だった。

チャーチルは論理派、レーガンは感性派である。2人の性格は正反対だったが、共通点が1つあつた。悪文を嫌つたことである。

2人ともそぎ落とされた「美しいメモ」を好んだ。「美しいメモ」の核となるのが「箇条書き」である。彼らの政権下では、達意のメモを書けない部下の未来は暗かつた。

4 箇条書きとは何か？

4.1 箇条書きとは？

ここで箇条書きとは何かを考えてみる。辞書によってさまざまだが、Wikipediaの定義が分かり易い。

文字による表現方法のひとつ。読みやすくするため、いくつかの項目のひとつひとつ分けて書き並べる。項目は単語であったり文であったりする。枠線を使わない表の一種。

4.2 行頭記号の打ち方

必ずしも必要なわけではないが、箇条書き各行の冒頭に● (bullet)などの記号、数字またはアルファベット (a. b. c. など) カタカナ(ア. イ. ウ. など)を付すことが多い。どれにするか決まりはなく、その人の好みである。ふつうわたしは数字を使っている。

5 箇条書きを並べる順序はこうする

箇条書きの内容は、ランダムに列挙する場合と、重要度に従ったり、一定の手順に従ってリストをする場合などがある。

5.1 ランダムに列挙する

夏の冷え性の対策：夏にエアコンを使いすぎ「夏の冷え性」が男女ともに増えているという。その対策を箇条書きで列記していた記事があった（日本経済新聞 2019年7月20日）。

- 冷たいものを取りすぎない
- 就寝前にぬるい風呂 20 分以上入る
- 自宅の冷房は 28 度に設定
- 運動して筋肉量を増やす
- 外出時ははおれるものを持ち歩く。

この 5 つの項目の順序に特に軽重はなく、順不同である。冒頭の●印は記号の例である。

この記号に格段の意味があるわけではなく、見やすくするための工夫である。

5.2 重要度に従ってリストする

①下記は、上記の夏の冷え性対策を、自分が覚えておくべき重要度別にリストしたものである。一見して 5 つのポイントがあることがわかるように、行頭には数字の番号を振った。

- (1) 就寝前にぬるい風呂 20 分以上入る
- (2) 自宅の冷房は 28 度に設定
- (3) 外出時ははおれるものを持ち歩く
- (4) 冷たいものを取りすぎない

(5) 運動して筋肉量を増やす

②わたしは、夏は40度弱の風呂に10分程度入っていた。就寝前というより、夕飯の前に入るのが普通である。だから、「就寝前」に「ぬるい風呂(おそらく37度とか38度位だろう)」に「20分以上入る」という指摘は、わたしには大事な情報である。だから、トップに持ってきた。

③冷房の温度も、ふだん26度-27度にすることが多かったので、28度はわたしにとってはやや高めである。これも忘れないように2番目にリストした。

④こうして、記事の情報を自分流に構成し直す。そして、できるだけ身につくようにする。夏バテ防止法に限らない。文章の書き方でも、リーダーの備えるべき資質でも、巣ごもり生活のノウハウでも、入手したあらゆる情報は、自分の必要性/重要度に従って再構成する。そして日々の生活や仕事に生かしている。

5.3 手順に従ってリストする

①製品の取り扱いなどは、一定の手順に従わなければ正しく機能しない。
プリンターの設定とか、インターネット・バンキングの送金とか、手順をスキップしたり、手順を間違えると正しい結果を得られない。手順を守らなければならない場合は、一見して第一手順、第二手順、第3手順と分かるように、行頭には数字を付した方がよい。

②ごく簡単な例として、デジタル体温計の使用手順をみよう。検温の順序を間違わないように、行頭には記号より数字を使う方が簡明である。

- (1) 電源を入れる。
- (2) L表示がでたら体温計をわきに挟む。
- (3) 15秒後にブザーが鳴り検温終了。
- (4) 電源を切る。